

# 地域連携 だより

彦根市立病院

〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地

TEL : 0749-22-6050(代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室

TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093



いつもありがとうございます

## 入院・外来に続く第3の医療！ 「在宅医療」

～療養しながら  
豊かな人生を送るために～  
在宅診療科

一岡 慶紀



在宅医療支援室(在宅診療科)の一岡です。  
地域の諸機関の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当院では、約3年前、地域の皆様が安心して自宅で過ごしていただけるよう、訪問診療チームが立ち上がりました。昨年4月に滋賀県から一岡が派遣され医師2人となりました。同時に、在宅診療科(院内標榜)が正式に開設され、より多くの地域のニーズに、継続的に関われる体制ができました。

湖東圏域においては、24時間体制で訪問診療を行っている医療機関が少なく、訪問診療(特に在宅看取り)を希望される全ての方への提供が困難な状態です。また、1人で訪問診療をされている先生がほとんどで、負担軽減も大きな課題でした。

当支援室では、医師2人体制である事を活

かして、24時間365日を交代で待機して、普段在宅を診ていただいている先生方の不在時バックアップ体制を構築する等、その支援に取り組んでいます。

前年度をもって切手医師は市立病院を一旦離れられましたが、滋賀県から堤美紗子医師を派遣していただき、今年度も医師2人体制を維持する事ができました。一岡は、家庭医療専門医・指導医として、堤も家庭医療を専攻している立場として、その専門性をもって、患者さんやご家族が豊かな人生を送る一助となるような診療を、地域の皆様とともに、地域での学びを得ながら実現したいと考えています。

しかし、まだまだ発展途上の若いチームですので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

# 当院では、在宅診療科(在宅医療支援室)を設置しています

ますます  
ニーズ  
拡大

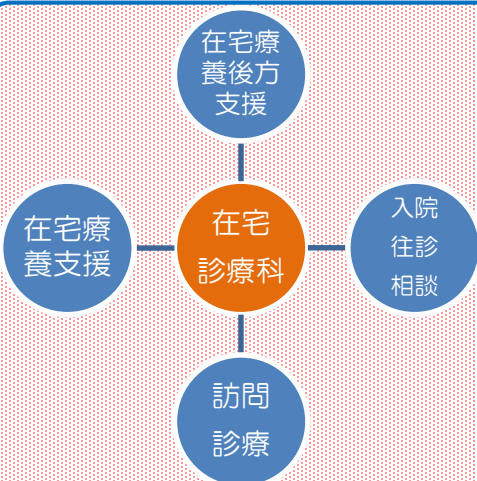
おかげさまで3年目を迎えることができました

在宅医療支援室は「入院しているよりも住み慣れた家で過ごしたい」「定期的な医療が必要だけど通院が困難である」「人生の最期の時間を自宅で過ごしたい」という方々を支援するために、平成28年度4月に新設され、約3年が経過しています。現在は、地域の先生方に知っていただき、後方支援として訪問診療を行い協力させていただいています。

また、検査入院や家族負担の軽減を目的としてレスパイト入院を受け入れています。

訪問診療では、湖東圏域のみならず圏域外の相談も受け入れており、自宅をはじめグループホームなどの施設を訪問しています。訪問診療件数は平均77件/月で、在宅看取りは昨年度21人でしたが、30年度は9月の時点で15人の方のお看取りをさせていただきました。

## ◆在宅診療科の4つの役割



### 1. 在宅療養支援

入院中の患者さんが自宅へ退院する際に、退院後も病状が安定するまで、ご自宅などでの生活を支援するために訪問診療を行う。病状が安定すれば、かかりつけ医（開業医）へ紹介。

### 2. 在宅療養後方支援

かかりつけ医の先生の、急変時の対応や出張、休養の際に、往診対応。

### 3. 入院や往診の相談

受診困難な患者の往診、開放病床入院加療、レスパイト入院（原則1週間）の受け入れ

### 4. 訪問診療

通院困難で自宅での治療や自宅での最期を過ごしたい方などの訪問診療

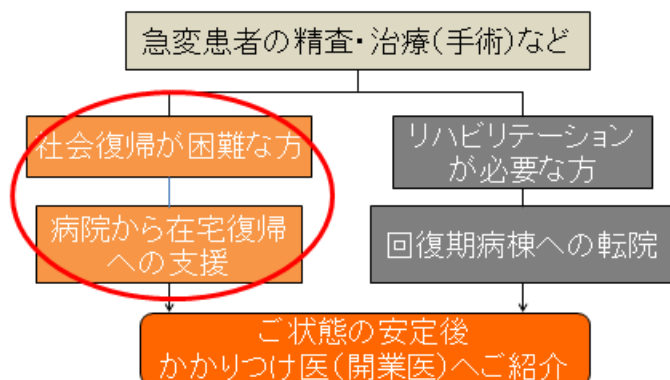
## ◆当院の在宅医療の特徴

当院は、湖東医療圏の唯一の公立病院で急性期の役割を担っています。また、地域密着型の急性期病院として高齢者の慢性疾患を支える役割もあると考えています。

自宅や施設のなかで、もともと慢性疾患の急性増悪で当院へ搬送され、急性期治療を受け、社会復帰をおこなう際、退院後も病状が安定するまで、ご自宅などでの生活を支援するために訪問診療をおこなっています。病状が安定すれば、かかりつけ医（開業医）へ紹介させていただきます。

当科で、在宅看取りをおこなわせていただいた場合は、グリーンケア訪問を行っています。

## 急性期病院の役割



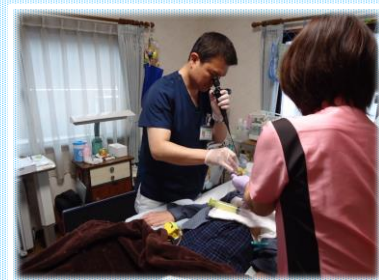
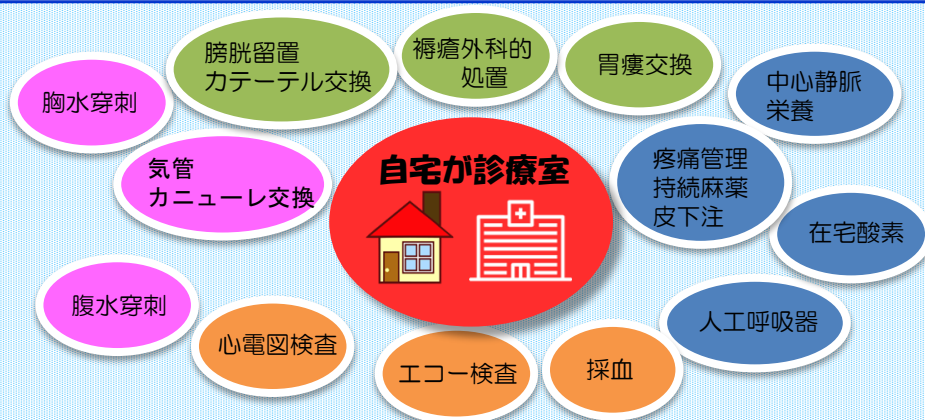
住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで送れる体制（地域包括ケアシステム）を、急性期病院として在宅診療科と在宅医療支援室で考えていきます。

# 在宅診療科のできること 訪問診療でいつも安心！

12

2018

## ◆当院の在宅医療で行える治療・検査・ケア



訪問診療で胃瘻交換

## ◆かかりつけ医の先生からのご相談

80代の男性、胃がんで最近体力が低下し通院が難しくなっています。  
家族が“自然な形で逝かせてあげたい”という思いがあるのですが、往診をしていないので、そちらで診てもらえませんか？

B 医院



相談後、当院の在宅診療科で訪問診療を行いました。

お願いがあるのですが、家族の方が自宅での介護に疲れを感じているので一週間レスパイト入院させていただけませんか



A 医院

相談後、一週間のレスパイト入院をしていただき、かかりつけ医の先生には、開放病床に来院していただきました。

100歳女性、家族が自宅で看取りを希望している方の往診に行っています。家族が本人に何かあった時に連絡できるところを教えてくださいと言われました。私も自分一人の診療では難しくなっています。バトンタッチできないでしょうか？

C 医院



相談後、併診治療を行い、緊急時や夜間対応できるように体制をとりました。

## ◆訪問診療 病院から訪問できる～16km圏内～

### 湖東圏内を中心に活動



### 湖東圏内

彦根市・愛荘町  
豊郷町・甲良町  
多賀町

### 訪問可能な施設

・自宅  
・サービス付  
高齡者住宅  
・グループホーム等

## ◆在宅診療の開始まで

STEP 1

まずは在宅医療支援室へ連絡ください  
TEL：0749-22-6050

STEP 2

診療情報提供書を送付ください  
FAX：0749-22-6093

STEP 3

在宅診療科でカンファレンス  
訪問の決定

STEP 4

訪問の開始

# 地域医療連携室からのお話

先日、毎月発行しております「地域連携だより」の購読状況を調査し、より読みやすく、わかりやすい紙面を作るためにアンケートをとらせていただきました。その結果をお知らせします。

配布件数 143ヶ所 回答数 68ヶ所 回答率 47.6%

1.「地域連携だより」はどなたがお読みになっていますか？

|     |    |
|-----|----|
| 医師  | 63 |
| 看護師 | 23 |
| 事務職 | 14 |

2.「地域連携だより」はどの程度お読みになりますか？

|              | 人数 |
|--------------|----|
| 全ての記事を読む     | 22 |
| 関心のあるものだけを読む | 43 |
| ほとんど読まない     | 3  |
| まったく読まない     | 0  |

3.「地域連携だより」の満足度・読みやすさ・内容への興味・関心は？

|     | 満足度 | 読みやすさ | 内容への興味・関心 |
|-----|-----|-------|-----------|
| 評価5 | 7   | 6     | 10        |
| 評価4 | 33  | 34    | 28        |
| 評価3 | 26  | 24    | 28        |
| 評価2 | 2   | 3     | 2         |
| 評価1 | 0   | 1     | 0         |

「評価5が非常に満足している」「評価1が全く満足していない」としています。

満足度・読みやすさ・内容への興味・関心について、非常に満足しているから普通という回答が多かったです。また、回答された方のほとんどに読んでいただいていることから、「地域連携だより」に関心をもっていただいていることがわかりました。

今後、取り上げてほしい内容の中に、在宅診療科の情報とありました。そこで、今回の「地域連携だより」に「在宅診療科」の特集をさせていただきました。

これからも、皆さんからいただいたアンケート結果から、少しでも、病院の旬の話題をお届けしたいと思っています。

## New Face! 新任

このたび新しく彦根市立病院で働くことになりました。皆さまよろしく願いいたします。



脳神経外科  
足立 拓優

- ◆大学卒業年 : 2011年
- ◆専門分野 : 脳神経外科
- ◆専門医 : 日本脳神経外科学会専門医  
日本脳神経血管内治療学会専門医
- ◆所属学会 : 日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会  
日本脳神経血管内治療学会 日本脳卒中の外科学会
- ◆趣味 : ドライブ ピアノ
- ◆抱負 : より良い医療を提供できるよう精一杯頑張ります

## 10月をもって退職となった医師

◆ 脳神経外科：村田 大樹

今までお世話になりました。  
本当にありがとうございました。